

洛和会音羽病院

地域連携ニユース

7

〒607-8062 京都市山科区音羽珍事町2 TEL 075 (593) 4111(代) <https://www.rakuwa.or.jp/otowa/>

2024 July

最新の

骨盤臓器脱治療法

洛和会音羽病院 副院長 産婦人科 部長

産婦人科 腹腔鏡手術センター センター長 兼務

いとう みゆき
伊藤 美幸

専門分野

産婦人科一般、内視鏡手術、婦人科腫瘍

専門医認定
資格など日本産科婦人科学会産婦人科専門医／指導医、日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医
日本内視鏡外科学会技術認定医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医
日本ロボット外科学会専門医、日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍専門医

骨盤臓器脱は、骨盤内の臓器を支える筋肉や靭帯が弱くなり、子宮や膀胱、直腸が腔から脱出する状態を指します。これは主に肥満、加齢、出産が原因で起こります。症状は段階によって異なり、初期には下腹部や腔内の違和感があり、進行すると排尿困難や頻尿、排便困難などが見られます。重度の場合、子宮や膀胱、直腸が完全に腔から脱出することもあります。

なかなか他人には相談しづらい症状で、1人でお悩みの患者さんも多い疾患です。命に関わる病気ではありませんが、いつも感じる違和感や排尿困難は生活の質を低下させます。これが原因で外出を控えるようになった、お孫さんを抱っこできないという声も聞かれます。お困りの方がおられましたら、ぜひ私たちにご相談ください。



骨盤臓器脱について

▶ 主要な原因

出産

特に多産の女性はリスクが高まります。出産時の負担が骨盤底筋に影響を与えます。

加齢

年齢とともに筋肉や靭帯が弱くなり、骨盤内臓器を支える力が低下します。

肥満

過剰な体重が骨盤底筋に負担をかけ、臓器脱のリスクを高めます。

腹圧

慢性の咳、慢性の便秘、重労働のような骨盤底への過剰な圧力かける状況はリスクを高めます。

▶ 症状

朝起きた時にはないが夕方になると現れる異物、お風呂で何か触れる、排尿がしづらい、など

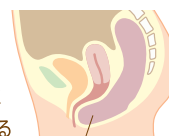
▶ 種類



膀胱

膀胱瘤

お腹側にある腔の壁とともに膀胱が下がってくる



直腸

直腸瘤

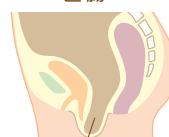
背中側にある腔の壁とともに直腸が下がってくる



子宮

子宮脱

子宮が腔の中に下がってくる



小腸

小腸瘤 (腔断端脱)

子宮を取った後に腔の壁が下がってくる

治療法は裏面へ



骨盤臓器脱の治療法

患者さんの病状に合わせて、保存治療、または、手術治療を選択します。



保存治療

▶ ペッサリーリング

膈内に挿入して子宮を支えるシリコン製のリングで、初期から中等度の子宮脱に有効です。保険適応のペッサリーをまずは使用しますが効果がない場合、当院では自費購入にはなりますが、症状に合わせた形状が選べるペッサリーを導入しています。

▶ 骨盤底筋群のトレーニング

骨盤底筋群体操などで筋肉を強化し、症状の悪化を防ぎます。



手術治療 いずれも全身麻酔下にて行います

▶ 子宮脱根治手術

経膈的に子宮を摘出し、ご自身の支持組織を用いて膈の緩みを修復します。ご自身の組織を用いるので再発リスクは高めですが、糖尿病などでメッシュを使えない患者さんに適しています。

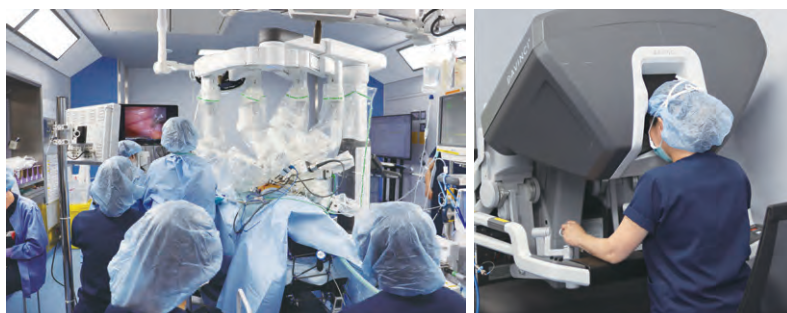
▶ 腹腔鏡下(ロボット支援下)仙骨膈固定術

数個の小さな穴から手術をします。子宮の頸部を残して、体部と卵巣・卵管は摘出します。頸部にメッシュを縫い付け、仙骨の前に固定します。メッシュを用いるため再発が少ないですが、メッシュが異物で感染源となりうるため、糖尿病の方には不向きです。

当院では特にこの手術を手術支援ロボット「da Vinci Xi」を用いて行います。この手術では、手術の正確性が高まり、傷が小さく、回復が早いという利点があります。手術後は、翌日から歩行が可能です。水分摂取や食事翌日から開始できます。術後から退院までの平均日数は4日です。

当院 産婦人科 診療実績データ

	2023年	2022年
■ 開腹によるもの	27件	28件
子宮全摘術	6件	11件
付属器手術	4件	1件
悪性手術	16件	11件
その他	1件	5件
■ 腹腔鏡によるもの	63件	70件
子宮全摘術	8件	22件
付属器良性手術	45件	30件
悪性手術	1件	7件
仙骨膈固定術	6件	6件
その他	3件	5件
■ ロボット	30件	20件
子宮全摘	25件	15件
子宮脱	5件	5件
■ 膈式手術	28件	34件
子宮脱	2件	1件
円錐切除術	13件	21件
その他	13件	12件



▲ da Vinci Xi

腹腔鏡下手術の
詳細はこちらから



ロボット支援下手術の
詳細はこちらから



女性には幾つになっても明るくはつらつとしてほしい。そんな思いで患者さん一人一人の状況に応じた治療法を提供するため、保存治療や手術治療の選択肢を幅広く用意してお待ちしています。

洛和会音羽病院 地域連携課

業務時間

月～金曜日：午前8時30分～午後8時
土曜日：午前8時30分～午後5時15分

連絡先

地域連携課直通
TEL 075(593)7725
FAX 075(593)4160
E-mail otowa@rakuwa.or.jp

ご意見・ご質問・ご要望などございましたら
お申し付けください。

医療機関予約専用フリーダイヤル 0120(607)489